

第165回 医療ビジネス研究会のご案内

WHO(世界保健機関、2000年)は健康上の問題がなく日常生活を過ごす事が出来る期間を「健康寿命」として提唱するようになりました。日本におきましても「健康寿命延伸プラン」が策定され、2040年までに健康寿命を男女共に3年以上延伸させ(2016年比)、75歳以上にすることを目指す取組みが行われています。(2019年厚生労働省)

医療技術の目覚ましい進展で寿命そのものも延びてきましたが、その担い手は医療機関や介護事業者です。では、健康寿命を延伸させる担い手も医療機関や介護事業者となるのでしょうか。国民は不調を感じたら医療機関に気軽にアクセスできる皆保険制度に守られていることから、残念ながら健康な時に真剣に、健康活動に取り組む人は限られているようです。

また、健康を題材にしたTV番組や健康関連商品が紹介されるTVショッピングは終日放送されるなど、健康情報は巷に溢れています。健康に関連する研究も様々な分野で進展していることから、従来の常識が覆されるような状況にあります。どの情報が正しいか、健康な人の健康活動をどの様に浸透させるのか、健康寿命延伸プランは指南役不在の中でどのように具体化されるのでしょうか。

今回は長年、自然要素(海、山岳、森林、地形、温泉、気候など)のもつ保健作用とその社会的実装に関する研究を続けられる医師の阿岸(アギシ)氏より、ご自身の臨床研究を紹介戴きながら、生理学的視点から健康活動の要点を解説戴きます。人が本来持ちうる能力(生体機能の可能性)の理解とそれを最大化させる取組み(検証)は、健康活動の基本でもあります。

世の中が目指す事はいつまでも健康で過ごす事で、病気になって高度な医療を受けることではありません。生化学、分子生物学、分子栄養学等々、健康活動に関連する分野の知見が拡散していますが、真に健康になりたい方はもとより、人の生体機能や生理学の基礎を確認したい方、そこから見えてくる生体機能の持つ可能性に関して議論したい方など、是非ともご参加頂きたくご案内申し上げます。

2023年6月
特定非営利活動法人 医療事業再生機構

記

- テーマ:「健康活動に必要な生体機能に関する基礎知識」＝永年の臨床研究より＝
- 講師:阿岸祐幸氏 医学博士、北海道大学名誉教授(元北海道大学付属登別温泉研究所 所長)、健康保養地医学研究機構 代表理事、医療事業再生機構 理事
- 開催日時:2023年7月10日(月曜日)15:00～17:00

以上

※ 医療ビジネス研究会に参加希望される方は受講票が必要です。